

(2024年度 第02回) さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時： 2024年05月18日 13:00~15:15

場所：山王集会所

参加：21名 欠席：3名

【総務部挨拶】

本日役員定数24名に対し、21名出席3名欠席と4分の3を上回っておりますので、今回は成立します。議事進行は会長にお願いしたいと思います。

1. 会長、副会長の活動報告

1.1 「ちょこっと サービス」の紹介

根郷の社会福祉協議会の福祉員として、週2日ボランティア活動に関わっている。活動の一環として「ちょこっと サービス」という、軽微な困りごとをお手伝いするサービスに参加している。利用には会員登録が必要で、無料で登録できる。サービス内容は水やり、買い物支援、草取り、洗濯物を干す、話し相手などで、介護保険サービスとは異なる。

利用者はコーディネーターに連絡して時間を決め、サポーターがその仕事を行う。サービスは無料ではなく、例えば買い物支援は1件600円、その他のサービスは30分400円程度で提供される。料金は現金で支払われ、一部は社協の活動資金となり、残りはサポーターの作業費となる。4月には540件の利用があり、年間で1000件以上のサービス利用が見込まれる。

《依頼事項》

・紹介依頼

班長には、班内で日常生活に少し困っている方に「ちょこっと サービス」を紹介し、会員登録と利用を促してほしい。

・ボランティア募集:

サポーターとして活動できる方を募集。ボランティア活動の一部は報酬として受け取れる仕組みで、現在80名が登録しているが、サポーターが不足しているため、協力をお願いしたい。

なお、副会長2名は、山王小学校区まちづくり協議会という、山王地区の小学校区を中心に活動している。

1.2 申請書(要望書)の提出について

市役所への申請書もしくは要望書を提出する際は、以下の手順でおこなうこと。

《依頼事項》

- ・市役所に提出する書面は半分公的な書面と見なされるため、すべて会長名で提出すること。市役所に書式がある場合はその書式を使用すること。
- ・申請書(要望書)を作成する際には、事前に会長の名前、住所、電話番号を記入しておき、提出前に必ず会長の確認を受けた上で提出するようにすること。

1.3 文書管理

各部の部長への依頼。文書管理について、以下の点を実施すること。

《依頼事項》

• 文書管理のレビュー

各部長は、前執行部から引き継いだ契約書や市役所に提出した要望書を含む文書を一度レビューし、総務部と連携して一冊の管理ファイルを作成するようにすること。

• 申請書類の管理

現在、市役所に提出した申請書類は一括で管理されていない。各部で申請したものは各部で保管しつつ、一部は総務部と相談して自治会から出した書面としてしっかり管理すること。

市役所に提出した書類がいつ、どの部で申請されたのか分からない状態にならないようにすること。

• 契約書、公的書面、保険証書の整理と一括管理

現在、保険など契約書が総務に保管されていないことがある。各部で保管されているか、所在が不明な場合もある。各部で保管している公的な書面、契約書、保険証書などを整理し、一部は総務部で一括管理するようにすること。

総務部は、各部から提出された書類を一元管理し、必要なときにアクセスできるようにファイルを作成すること。この管理ファイルを引き継ぐことにより、次年度の執行部がスムーズに業務を継続できるようになる。

• 自治会活動保険の証書の確認と管理

現在、自治会の活動保険の証書が適切に管理されていない状況。各部長は、活動保険の証書がどこに保管されているかを調査し、総務部にその状況を報告すること。もし証書が見つからない場合は、会計帳簿を確認し、保険会社に連絡して再発行を依頼すること。

• (補足) 行事部の保険管理

行事部では、夏祭り用の保険を含む2種類の保険（レクリエーション参加者保険と賠償責任保険）を契約している。夏祭り中止の費用補填用の保険には加入していない。なおレクリエーション参加者保険は、参加されている方全員が怪我をして通院入院した場合に保証を受けられる。賠償責任保険は夏祭りで事故があり自治会に賠償責任がある場合に対応する保険である。これら行事部で契約した保険証書はすべて行事部にて保管している。

(会長コメント) 保険契約内容を確認と必要性を精査し、無駄がないようにしていただきたい。

1.4 要望対応

さまざまな問題や困りごと、隣人とのトラブルなどの相談が寄せられることが多い。これらの問題の中には、市役所において解決できるものと、そうでないものがある。個人の財産などに関わる問題は市役所の範疇ではないが、自治会として会員の困りごとには積極的に関与する。

• 問題対応の手順

クレームや問題があった場合、まずは班長が状況を確認し、会長に連絡する。最適な解決方法を話し合い、必要に応じて自治会長名で対応を行う。例として、ごみ出しのルール違反への対処などがある。書面での要請や直接の訪問を通じて問題解決を図る。

• 対面訪問時の注意点

直接の訪問でトラブルになりやすいケースがあるため、訪問時は複数で対応することが推奨される。身の安全を守るため、一人ではなく複数人で訪問するよう心がける。

1.5 防火管理者講習会

7月や8月に防火管理者の講習会が開催される予定。会長も講習会に参加する予定。興味がある方は会長に声をかけること。講習会の費用は自治会が負担するので、興味がある方はぜひ申し込んでいただきたい。9月や10月にも講習会のスケジュールがあり、場所は柏、我孫子、習志野、市原などで開催される。防犯部の松田さんは甲種の防火管理者資格をもっており更新をお願いした。防火や防災を考える際には、専門的な知識が必要。講習を受けることで、集会所の防火体制を強化することにつながる。防火管理者が複数いても問題ないので、講習に参加する機会を活用してほしい。

1.6 業務委託契約の終結

自治会は市役所と業務委託契約を結んだ。この契約により、自治会は回覧資料を回す業務を受託した。自治会が回覧資料を確実に回すことで、今期は12万円の報酬を得ることができる。班長は回覧資料の確実な回覧をお願いする。

1.7 自治振興交付金

夏祭り費用として自治振興交付金40万円の交付を受けるための申請書を市役所へ提出した。申請には見積書が必要なため、予算の項目を証拠として議案書を提出。交付金を受けるには、イベント終了後に決算書を提出する必要がある。振込は、決算書提出後2か月程度ごろとなる予定。

1.8 集会所建て替え計画

集会所の改修工事が終了した際に、当時の会長と相談して助成金の申請を行った。助成金の支給には予約が必要で、予約リストに記載していなければ支給されない。現状を市役所に確認したところ、助成金の予約リストに2035年の建て替えとして掲載されていた。ただし、予約は確定支給の保証ではない。

2035年に建て替えを行うため、必要な手続きを進めていく準備チームを組織する予定。建て替え助成金は現時点で予算がついてはいるが、これを逃すと1,000万円の助成金が受け取れない可能性がある。

(補足)助成金の申請を行っていなかった場合、今からの申請だと支給時期は2042年となる状況だった。以前は3つの枠があったが、現在は1枠のみとなっている。

1.9 街路樹剪定

今年度、市役所による街路樹の剪定が行われる予定。佐倉市の予算の都合上、一度剪定が行われると、次の剪定は5年以上先になる可能性がある。街路樹の剪定には500万円の費用がかかり、他の地域でも同様の状況であるため、剪定作業が頻繁には行われない。樹木の成長に伴い、作業コストが上がり、剪定の頻度が減少する。市役所は管理が大変なため、伐採を希望する意見もあるが、住民環境の問題も考慮が必要。また、つつじに関しては、昨年度、強い剪定を実施、普段は剪定しないが、自治会からの要請で実施した。今後、つつじの下の草部分については作業しない方針とのこと。

《提案》

樹木が伸びることで、防犯灯や道路標識が見えにくくなるなどの問題が発生している。環境部には長期的な視点で環境維持管理を検討するよう依頼している。街路樹の剪定については、2035年の集会所建て替えのように、長期的なプランを立てて環境維持を進める必要あり。

《対策案》

5年に一度の剪定の中間の2年目や3年目に特定の場所を選んで部分的に剪定することで、費用を抑えつつ環境維持を図る。電柱や道路標識周りの樹木を伐採することで、防犯や標識の視認性を確保する。ただし、環境への配慮が必要。

《今後のアクションプラン》

- 環境部への依頼：環境部に具体的な剪定・伐採計画を考えてもらい、自治会で議論。
- 市役所との連携：市役所と協議して、具体的な剪定・伐採の範囲と費用を明確にする。
- 住民の意見収集：住民からの意見を取り入れ、環境維持とコスト削減のバランスを取る。
- 長期的視点：環境維持と経済的な持続可能性を考慮しながら、計画的な対応を進める。

2. 各部報告

【福祉部】

《報告》

例年、佐倉市社会福祉協議会と日本赤十字社にそれぞれ20万円の助成金を支出している。助成金の支出を審議していただきたい。日本赤十字社の活動に関しては、海外救援活動、防災活動、復旧活動など実施している。

《会長補足》

佐倉市社会福祉協議会は民間団体である。資金は我々が行うような助成金、市役所や行政機関からの委託金で賄っている。社協と市役所は別ものであり、自治体の活動に近い。

《採決》

社会福祉協議会、日本赤十字社ともに意義のある活動であり、今期も20万円ずつの助成金を出したい。よろしいでしょうか？

⇒満場の拍手にて採決。

【行事部】

《報告》

夏祭りの開催日時と場所は以下の通り。詳細は配布資料に記載。

日時: 7月27日(土曜日)、午後4時から午後8時半まで。

場所: 山王小学校の駐車場。

今回の夏祭りは、夏祭り実行委員会が企画運営を担当し、行事部と共に活動している企画運営委員会には、過去の施設部長、福祉部長、環境部長、行事部長など5名が参加している。前回との変更点は以下を想定。

- 敬愛短期大学のダンスパフォーマンスの廃止
- 敬愛短期大学のテント7張り提供不可に伴う、テントレンタル追加
- 自治会によるフランクフルトやから揚げなどの食べ物提供は行わない。
ソフトドリンクの提供に限定。ソフトドリンクは50円で販売予定。
佐倉市のキッチンカー協議会に依頼し、キッチンカーで肉類を提供。
- 休憩所の増設。従来の2つのテントに加え、もう1カ所休憩所を追加で設置。

子ども会の催し物、親父会の出店、清丸太鼓、抽選会などは従来通り開催。その他の企画については、現在企画委員会が調整中。

実行委員会を中心に準備を進めているが、班長の協力も必要。臨時班長会を7月6日午後1時から3時までを予定しており、詳細を説明する。なお、会長は欠席の予定。

《依頼》

夏祭りボランティアに参加したい方を募集。ちらしは回覧資料に入っている。QRコードが印刷されているので、必要な方は切り取って使用してほしい。

《予算》

去年の実績は150万円だが、今年の予算は190万円。使用料の増加が大きな理由。使用料の増加の主な要因は以下レンタル品の追加によるもの。

- ・テント7張りの追加、夜間の明かりが不足している箇所にライトを追加するため、20万円ほど増加。
- ・子どもたちの遊び場に温度を下げるためのミスト付きの扇風機を追加
- ・飲み物用の氷を保管する冷凍庫を追加

その他、事業費として物品の購入費や飲み物代などがあり、食品や物品費などが上昇しているため、昨年実績より5%以上を計上している。

《採決》

(会長) 今年の予算は190万円で夏祭りを執行したい。よろしいでしょうか。

⇒満場の拍手にて採決。

《会長、総務部補足》

30年以上前は、小学校や中学校からテントを借りていた。ただし、何かあった場合を考慮するとレンタルの方がよい。今期はレンタルするが、今後の選択肢を広げるため、何かの機会に小学校にテントの貸し出しについて行事部から聞いて欲しい。また、自治会の倉庫にテントがあるが、使用頻度が低く、使い勝手が悪いのなら廃棄を検討して欲しい。

学校施設の施設予約について、ダブルブッキングが発生したことがあるため注意が必要。小学校の利用申請は行われており、教頭先生と連絡が取られているが、日程の周知を早めることが重要。また、夏祭りのちらしはカラーで作成、全戸配布予定で進めて欲しい。

【環境部】

《報告》

6月2日に予定している一斉清掃について、資料を配布している。詳細は配布資料を見て頂きたい。万が一なにかあった場合は緊急連絡網が回る。

【防災部】

《報告》

防災訓練は、11月9日の10時から12時までを予定している。準備等あるので、9時から13時まで関係者はスケジュールを確保していただきたい。詳細は後日報告予定。

防災委員会で防災訓練は防災部が主催することとなり、防災委員は自治会が行われる防災訓練とは別に活動を行いたい意向がある。

《会長補足》

防災委員会で防災訓練の内容や防災委員で行われる活動について、話し合ってください。

【総務部】

《報告》

■緊急連絡網

ABC のグループに分けた緊急連絡網を作成。緊急時の一斉通知にはサークルスクエアが使えるのだが、現在 80%程度の使用率であることから、電話による連絡も必要。全戸一斉掃除時の雨天中止連絡などで使用する予定。以下、修正箇所を記載する（省略）。

■サークルスクエア

5 月にサークルスクエアの整備を実施したが、全員にメールが届く状態にはなっていない。10 名の方はメールアドレスをお持ちではないため、個別対応を予定している。各部長は未登録の部員に直接連絡を取り、対応が必要な場合は総務部に連絡をお願いしたい。

また、アンケート機能を使って全班長の利用状況を確認したところ、23 名が一斉メールに反応し、アンケート機能のみの利用では 2 名のみ反応であった。今後、サークルスクエアの運用を改善し、最大限に活用していきたいが、場合によっては別のツールへの移行を検討する必要がある。サークルスクエア内のホームページを利用してイベントの紹介などを行いたい。

《会長補足》

分からないことがあれば総務部に連絡すること。サークルスクエアをグループメールや LINE のように気軽に使ってみて欲しい。特にパソコンやスマホに慣れていない方にとっては良い機会。運用方法やホームページの活用について夏頃に評価し、議論したい。

■会員管理

4 月の入退会処理： 退会 2 名、入会 3 名でプラス 1 名。

■車止めポール腐食対応

詳細はサークルスクエアに記載。

山王 2-13-2、山王 2-16-7 間の公道車止めポールが腐食しており、5 月 1 日付で要望書を提出済み。各班長は帰り道などに確認していただきたい。

■掲示板対応

掲示板を 1 件掲示。掲示板は集会場内と外、長崎大公園にそれぞれ 1 箇所ずつ、合計 3 箇所。

《質疑応答》

- 連絡網に関して、全戸一斉掃除の中止の際はこの連絡網を使用してよいか？
⇒(会長)使用してもよい。ただし、最初に会長に相談すること。相談して決めた内容を会長が総務部長に伝えて連絡を開始したい。
- 連絡網に関して、次の人に連絡がつかなかった場合はどうするのか？
⇒(会長、総務部)伝言を残して、次の人へ連絡を回す。その際、連絡がつかなかった人のことも伝えること。最後は各部長に連絡が戻るようになっているので、連絡が取れなかった人へ部長が連絡し、連絡が取れるように努力すること。また、2 名で構成される幹事、書記に関しては総務部扱いとする。
- 防災規程の中に連絡網の運用についての記載はあるのか？

⇒(会長)防災規程には連絡網を作るぐらいしかない。運用はさきほど議論した内容で進めたい。必要に応じて、緊急連絡網の使い方を練習したい。

■中会議室の回覧物整理用棚の設置

現在、壁側にテーブル 2 台とダンボールが置かれており、作業がしにくい状況。スペースを開けて棚を設置したい。金額はこれから見積もる予定。施設部の案件として承認を求める。

■プロジェクターの購入

現在使用しているプロジェクターを買い替えたい。現在のプロジェクターは 7 年経過しており、色調の不安定、動画の動きの遅れ、立ち上がりの遅さなどの問題がある。ランプの経年劣化と故障率の上昇が懸念される。

現プロジェクターは中会議室用で、スクリーンの大きさに適していない。他の団体も使用しているため、新しいプロジェクターが必要。ターゲットとしている機種の場合は約 25 万円。集会所の利用価値を高めるため、総務の予算内での購入を提案。承認を求める。

《採決》

(会長)プロジェクターに関して質問はあるか？提案内容を承認したい。よろしいでしょうか？

⇒満場の拍手にて採決。

《質疑応答》

・設備の購入に関して、自治会ではどのような設備管理をしているのか？防犯部では防犯カメラの点検をしているが、どのカメラであるのかわからない。防犯カメラが何台あって、どういう機種で、いつ購入し、どこから購入したのか、どのような補償がついているのかなどの設備管理台帳みたいなものがあるのが普通だと思う。

⇒(総務)資産管理台帳はない。

(会長)いい機会なので、資産管理を始めたい。購入履歴があれば、買い替えなどの計画立てやすい。契約書面や連絡先、メンテナンス契約なども含め、総務部がリードして進めて欲しい。

■路線バス時刻変更

回覧の中にバス停の時刻表を同封。わくわく体操会という教室にて、バスの運行表をもっていらしたので了承をえて回覧をする。集会所玄関付近にも置いてある。

《会長提案》

バスの時刻表は、会員だけでなく全戸分回すほうがよい。夏祭りで全戸にポストインする際をお願いしたい。また、我々がバスを利用していないと、バスがなくなるので利用できるときは利用して欲しい。

■要望書対応について

配布物として要望書チャートを入れている。今回車止めポール腐食対応をする際に参考にした。その参考資料が 2012 年 10 月 21 日の「苦情、要望などについての連絡」の文書であり、最新版にしたい。

《会長提案》

市役所から資料をいただいているので、会長が見直す。市役所の適切な窓口を知っておくことも重

要。ただし、各部長は市役所に直接電話せず、必ず会長に相談してから対応すること。市役所に要望書を出して形を残さないと対応されない場合がある。倒木が道を塞いでいるなどの緊急時の対応と通常時の対応の違いを理解して欲しい。

【施設部】

《報告》

■中会議室の棚購入について

総務部から提案があった中会議室の棚を約 5000 円で購入したい。

⇒会長が購入を承認。

■集会所周辺の草刈り

集会所周辺の草取りと自販機付近の剪定を集会所の清掃を委託している業者とシルバー人材の両方を比較し決める予定。次回の役員会で諮りたい。

■集会所セキュリティ改善(オートロック導入検討)

施設部にて、前回(2024年4月27日開催)役員会で、会長より集会所セキュリティ向上に向けたオートロック導入検討依頼があり、調査を実施。皆の意見を聞きながら進めたい。

今後の手順は以下の流れで進める。

- ・現状分析と改善案を調査し、方向性を決定。
- ・詳細調査とコスト見積もりを行い、来月の役員会で審議。
- ・使用団体への意見聴取と試験運用を実施。
- ・最終的に役員会と班長会で実施可否を決定。

本日は、方向性を決めたい。

●現行方式(物理的な鍵)

・メリット

物理的な鍵を使用しており、耐久性が高く、消耗品の交換が不要。基本的にはメンテナンスフリー。誰かが開錠すると鍵が開いた状態が続くため、集会など何人も集会所内に入る場合は便利。

・デメリット

オートロックではない。鍵の管理が不十分で、紛失や盗難、不審者の侵入リスクがある。一般団体は玄関脇のナンバーロック付き箱から鍵を取得できるが、ナンバーロックの番号を知っていると誰でも簡単に鍵を持ち出せる。

●機械式ボタン式ロック

・メリット

暗証番号を使用して開錠し、扉が閉まると自動的にオートロックがかかる。鍵の紛失のリスクはなくなる。メンテナンスが不要で、既存の扉に取り付け可能。比較的安価で導入可能。

・デメリット

ボタンが硬く、お年寄りには使いづらい。暗証番号が漏れると誰でも開けられるため、定期的な番

号変更と通知が必要。暗証番号を知らない参加者が開錠できない問題。扉を開けばなしにするとエラーが発生する可能性がある。

●スマートロック

常にロックがかかっているオートロック方式。玄関の鍵はオンラインで発行される暗証番号もしくは QR コードを使用して開錠する。個々の利用者に特定の暗証番号が割り当てられ、全員が同じ暗証番号を共有しない。その他、IC カード方式もある。集会所施設予約システムと連動させることも可能。集会所の玄関にロック機構が取り付けられるか業者へ確認中。

・メリット

機械式ボタンロックよりは、セキュリティ強化が見込める。集会所への入場予約と施設予約を連動することで、施設使用の履歴を残す事ができ、使用料のキャッシュレス決裁も可能となる。

・デメリット

オンラインでの予約が必要であるため、web 上での操作、スマホ操作などに不慣れな方には利便性が低下する。オートロックであるため、施設に入る場合は、一人ひとりが開錠する必要がある。鍵の取り換え、セキュリティシステム導入などの初期費用に 20 万円(予約システムを導入する場合は、数十万円から 100 万円以上の追加費用が発生する)、その他、電池交換、システムの使用料など運用コストがかかる見込み。

《会長補足》

集会所をセキュアな状態に保つことは常にロックされていることである。物理的な鍵は紛失の可能性もある。ただ、玄関の開錠と施設利用の予約をリンクした発想は面白い。ただし、100 万円台の投資は集会所立て替えも控えているため厳しい。

■予約システム

現在、施設の予約は紙の予定帳を使用しており、利用者が直接予約を入れる形式。一方、予約システムを導入することで、スマートフォンや PC からいつでもどこでも予約が可能になり、予約の結果や状況をメールで受け取ることができる。施設部は、予約システムの導入により料金の収集や利用実績の管理を効率化したい。

・利便性と課題

予約システムの利便性は高いが、操作にはスマートフォンや PC が必要であり、電話番号やメールアドレスの入力が必要。また、定期的に利用する場合でも、毎回入力が必要であることが利用者にとって煩わしいと感じる可能性がある。

・検討中の改善策

団体名を登録することで、個々の詳細情報を入力せず一括で予約できる機能の検討。ただし、紙の予定帳の利便性や慣れに比べると、操作が複雑に感じる可能性がある。

■集会所施錠の方向性について（詳細は質疑応答を参照）

集会所の管理は自治会が担っており、管理責任を問われる可能性があるため、セキュリティの強化が重要視される。方向性について、現状のまま続けるか、それとも、提案されたスマートロック方式プラス予約管理システム導入をするのかについて、拳手による採決を行った結果、賛成も反対も同じぐらいの割合であり、方式については定まっていない。特に、集会所などの公共施設では、利用者の多

様性やさまざまな活動が行われる場であるため、変更が容易に受け入れられるわけではない。議論を進める上でセキュリティと利便性のバランスが重要であることが確認された。

なお、オートロックの導入に関して、賛同を求めた結果、7割程度の支持が得られた。

以上より、オートロックの方式は、利便性を考慮してどの方式をとるのかを決め、予約システムはランニングコストを確認し最適な方法を模索することとした。

《集会所施設錠の方向性についての質疑応答》

(質問) ロックをメインにするのか、予約システムをメインにするのか。分けて議論した方がよい。

(施設部) 予約システムを考え始めた理由は、料金収集の効率化がある。

現在、2か月に1回、施設部が集会所で施設利用チケットを販売し、利用する人たちはそのチケットを集会所まで来て購入する。そして施設使用ごとに、チケットをシールで貼付する。施設部は、チケットが貼付されていることを確認し、貼られていないところは、使用者に対し料金の請求をしている。予約システムを導入すると、使用実績が改ざんされることなく、正確に残る。そのため、キャッシュレス決済にはしなくても、例えば半年単位で料金を請求することができる。一年に一回か二回で料金の収集ができるため効率化が図れる。

(質問) 施設利用料金は、月極めの定額ではどうか？

(施設部) それでも別に良い。皆さんの申告に任せる。

例えば一月単位で3時間使用したため、3時間分徴収するなど。

(会長) そうなのは当然ログ、履歴が必要。例えば30いくつの団体があって

年一回にまとめて請求しようとした場合、実績つまりログがないと、我々が請求する根拠がない。

(質問) ログの精度ですよね

(会長) 精度というか当然、公平性の問題もある。

ある団体の人は正確に申告し、ある団体の人は適当に申告しているなどがあるかもしれない。我々はこういうルールで課金するというのを決めて、履歴を残す。予約システムを入れれば履歴が残るので間違はない。現行の方式は、ずっと前から線を引いて履歴を残している。

(施設部) 悪意ある場合それを消してしまう。

(質問) このロックを入れることによって 利便性が極端に悪くなる。

(会長) 利便性よりも、導入コストが100万円だったら話にならない。

(施設部) 導入コスト100万円は例である。それ以外の製品を探す予定。

重要な点は、それぞれ入るたびに暗証番号で解除することが許容できるのか。

(総務部) しつこいようで申し訳ない。予約システムとロックは分けて欲しい。

ロック中心に考えると、一人ひとりしか入れず使い勝手が悪くなる。でも予約システムは必要だと思う。あった方がいいと思う。

(施設部) 暗証番号を使うのであれば、それぞれの人が暗証番号を使用して開錠する必要がある。

予約システムに関係なく、そうしませんか。

(総務部) だから予約システムとロックについては、ある程度、線をひいて考えた方がよいと思う。

(施設部) 予約システムは、まず置いておいてください。

私の問は、ロックはどうでしょうか？セキュリティはどうでしょうか？それは、暗証番号で大丈夫ですか？ということを知っている。暗証番号が不可の場合、ロックは現状のまま行くのか、それとも変えますか？との話である。

(総務部) 管理人が一人いればね、すぐすむ話なのですけどね。

(会長) この施設部の提案は素晴らしいです。

いい案でやっていただいていると思うので。何か質問ありますか？

(質問) 入り口に防犯カメラはありますか？

(会長) ありません。

(施設部) 防犯カメラも、そのうち導入しないとイケないですね。

(質問) 小学校の低学年とかの子が、駆け込み、いわゆる子供 110 番みたいなこう、気軽に入れる環境はどうか？

(会長) そうすると、常にオープンに開けるとかなきゃイケない。

(質問) どなたか活動している間は、開いていてもよいのでは。

(会長) ただ、もしで子どもたちがこの集会所で活動していて、自由に人が出入りできる環境だったとすると、不審者が侵入する恐れがあることを考えるとロックされていた方がよい。施設を提供する側としては、セキュアな部分を当然もとめられる。

(施設部) まったく正反対の考え方になるが、確かに、この中で子どもたちが活動している最中に、まったく知らない人が入ってくる可能性はある。

(会長) 集会所の管理は自治会でやっているの、万が一あった場合は管理責任を問われる。今日は方向性を決めたい。現状のまま行くのか、今ご提案いただいたような形で、もう少しセキュリティの精度を上げる。それと合わせて、予約のシステムの部分。個人的にはセットにして、検討していくという形の方が今後のためにもいいと思う。現状のまま行くということに賛成の人、変えましょうという方は拳手をお願いします。

⇒拳手で確認。だいたい賛成も反対も同じぐらい。

(会長) 現状のままがいいというのはどういう意味で。

(質問) 先ほど言ったように、使い勝手が悪くなったら、利用しなくなる。

集会所の意義は、皆さんで使いましょう、気軽に使ってくださいというものがある。私は、そういうのがなくなるのではないかと思う。そもそも、何で変える必要があり、こういう話になったのか。セキュリティだけのことなのですかね。それを聞きたいです。

(会長) その背景を説明します。

現行方式は、鍵を持っている方は別にして、キーBOXのダイヤルを開けて、鍵を取り出し、開錠して入室する。出る時に鍵を閉めて、キーBOXに格納しダイヤルをロックする。

セキュリティというのは、この扉が常に閉まっているというのが一番安心安全。前回、前々回に、鍵がロックされないまま一晩開いていたことがあった。誰が忘れたのだ、みたいな犯人探しまで始まってしまった。だから、我々は施設を管理する立場、提供する立場でいうと、扉が常にロックされている状態を作った方がよい。ということで、こういったスマートロックしませんかとの話になる。

(質問) 僕の意見としては、総務部が言っていたように、分けて考えたらどうか。

(会長) いわゆるシステムの話が来たからですね。

(質問) そのほうが、すごく現実的だと思う。

ボタン式のロックで何十万円かでセキュリティ向上させましょう。

でも、それを、スマートロックのように付随する機能をつけて、改善できるようにするので

あれば、当然、予算も上がっていく。分けたほうがよい。

(施設部) 分けます。予約システムは捨ててください。

セキュリティ側のほうは、どうされたいのですか？

(質問) セキュリティ側？ 私は現状のまま。

(施設部) メカニカルキーで開錠し、開けばなしでということに賛成なのですね。

(総務部) 予約システムになった場合ですね、

私は、こういう会議がある前に、印刷などで頻繁に出入りをする。毎日のように午前中で終わらないものは午後に来て対応するなど。もし、こういう予約システムになった場合は融通が利くのか？

(施設部) それは、融通が利く手もある。

固定の番号を一定期間使うようにすれば、その番号でいつでも入りますと、予約しなくなるということはできると思う。

(総務部) 融通が利くのであれば、いいですけど。

(会長) 予約しないと入れないと言われたら、みんな活動できない。

そういう意味ではなくて、提案されているのは、いわゆるスマートロックで、開錠用の暗証番号を入力して入室することができる、プラス、予約システムをリンクさせることができるという提案。

(総務部) 予約がなくても、出入りできるのですね。

(会長) メリットは常にロックされている。これがポイント。今は鍵を開けたら、開錠されたまま。

(施設部) 常にロックしないというご意見もあるので、この点は大きな岐路。2者択一。

常にロックするのか、常にロックしないのか、これを両方やることはできない。方向性を決めないと、この先は進めない。

(会長) 基本的には、ロックしないというのがないと思う。

(質問) そもそも、この施設の中に鍵があったほうがいいわけですよね。

どうして鍵が必要なのか？個人情報とか、なんかいろんなものがあるのか？

(会長) 机ひとつ、鉛筆一本も資産である。ずっと開錠されているのは、非常に不用心である。

あと怖いのは不審火。基本、集会所には鍵がかかった状態がよい。

(総務部) コピー機などの資産も一応ありますからね。

(質問) 普通の集会所はスマートロックみたいなシステムは導入されているのか？

(施設部) スマートロック予約システムは 公共団体の集会所でたくさん使われている。

調べてみると、今、公民館なんかはどんどん変わってきている。もちろん、この集会所みたいに、そうでないところもたくさんある。

(総務部) 団体で使用したとき、一般の人を招いて活動することがある。

その場合、一般の人が入ってくる。その間、開錠していないといけない時間帯がある。一人ずつ入って、ロックがかかる。誰かが開錠し、一般の人を中に招き入れる。

(施設部) 私は会長の言われることは、すごく理解でき、

もしここで何かセキュリティの甘さの上から事故が起きた場合、自治会の責任となる。

(会長) 責任というか、お叱りを受ける。

自治会がしっかりやらないのであれば、自治会を辞めるみたいな話が出てくる可能性もある。我々は、この1年間で山王のコミュニティを住みよい街にしようよということで活動している。集会所は、我々の居場所、集まる場所なのでそこはしっかりセキュリティを作りたい。

(施設部) 手間な方向に変えると、必ず嫌がる人が出てくる。

(会長) 最後の意見をお願いします。

(質問) 結論としてなんですけど、この集会所の問題として、最後に誰かが使っていなくなるときに、施錠されていなかったことが今回の問題の発端だと思う。そうすると”オートロックを導入しない”ということは基本的にはないと思う。オートロックを導入するのであれば、こういうようなシステムを付随して入れることは、自然な流れである。なので、あとはオートロックを今までのようにメカニカルな鍵で導入するのか、オートロックに変えるときにナンバーロックにしてしまうのかという問題である。ここが、まず一つのポイントになるかと思う。オートロックも面倒だとなれば、それはもうどうしようもない問題となる。そこだけはまず説明しておいたほうがいいのではないか。

(会長) くだいようですが、過去、施錠されないことがあって、ヒヤッとしたことがあった。集会所は、安心安全という意味で、常にロックされているという形がよいと思う。方向性決めたい。先ほどのスマートロック プラス予約システムは賛成半数みたいな形になっている。現状、オートロックにもなっていないため、オートロックも含めた形の方向で進めたい。賛同いただけるか？

⇒7割ぐらいの拍手。

(会長) 次のステージで、オートロック、スマートロックいろいろあるかと思うが、それに、もし予約システムもからめるのであれば、具体的なランニングコストを見てもらえますか。高いお金をかけてまで、予約システムをやるのは、あまりコストパフォーマンスがよくない。予約だけであれば、仮に私が作ったようなことも、4-5千円で使えるものもある。そういうことも含めて、基本的にはオートロックで常に施錠されており、皆さんの利便性を踏まえてスマートロックとか色々考えて頂きたい。

(施設部) 会長の考えは理解した。それは一応維持しつつ、他の方のご意見も一応拝聴しましたので完全に一つに絞らないで、便利さを維持しながらセキュリティを高められるのか、そういう手がないかももう少し探してみます。

(会長) 現状も捨てたわけではなく、現状も当然しばらく運用する。我々はセキュリティを向上させるためにオートロックシステムを入れますよという話は、次の班長会で話をします。システムだけ簡単に話していただいて、私からは役員から要望がありましたという話をします。また最終導入時に皆さんにお伺いしましょう。

【次回開催予定】

役員会開催予定 6月22日 13:00~15:00

班長会開催予定 6月22日 15:30~16:30